



IIPS

平和研講演会シリーズ 2004

2004 IIPS Lecture Series

“国際社会の安定と我が国の進むべき道—地球規模問題への取り組み”

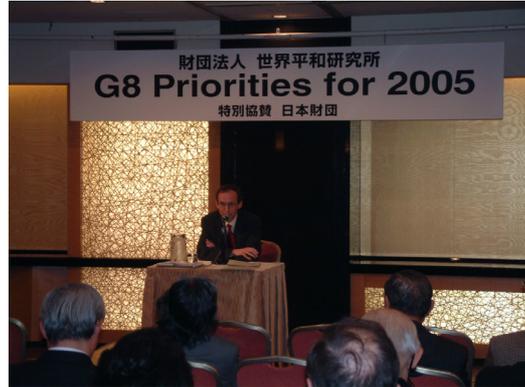
駐日英国大使グレアム・フライ閣下

「G8 Priorities for 2005」

2004年12月16日 於:キャピトル東急

世界平和研究所は、日本財団の協賛を受け、12月16日、キャピトル東急ホテルにおいて、グレアム・フライ駐日英国大使による「G8 Priorities for 2005」に関する講演を開催した。

フライ大使は、冒頭、英国は明年、G8ならびに欧州共同体の議長国を務める予定であり、この二つの機会をどのように活用するかがきわめて重要であると指摘し、さらに以下のように続けた。



英国は、今回、多数あるG8のアジェンダの中でも、特に地球温暖化問題とアフリカ問題について力点を置きたいと考えている。ブレア首相が、これら問題に焦点を当てるのは、中長期的課題として重要である他、問題の解決には国際協力が不可欠で、G8が手本を示すことが喫緊の課題となっているからである。

だが、地球温暖化問題は、人間の存在そのものを変えてしまうだけの影響を有しているにも関わらず、その構造が複雑で、かつ一国での解決が不可能であることから、重要性の認識は共通していても行動は不十分である。

次に、アフリカであるが、これは決して新しい課題ではない。現に、アジアでは貧困からの脱出が実現されたのに、アフリカでは大部分で進歩がみられない。40年前と同じような経済状況にある国やエイズの影響などで寿命さえ短くなったところもある。

アフリカを救済することはきわめて重要であり、アフリカへの援助を増大し、その債務を救済しなければならない。また、一層



この講演会は日本財団の助成事業により行っております。



の自由な貿易と投資が必要である。

最後に、フライ大使は、我々は全ての問題を完全に解決することはできないが、地球の将来に関わる深刻な状況についての一般的な関心を高め、問題解決への舞台を作ることは可能であると述べて講演を締めくくり、さらに来場者からの質疑に応じられた。